

Bell Friend

鈴鹿大学短期大学部 鈴友会会報 No. 6
平成 29 年 2 月 1 日発行



目 次

○ご挨拶	2
○[特集]母校 50 周年を祝う	3~7
・ 創立 50 周年記念事業と新学部設立および短期大学部再編のご案内	
・ 母校創立 50 周年をお祝いして	
・ 祝賀会に集まった皆さんからの喜びの声	
・ 母校創立 50 周年に寄せて	
○鈴友会活動	8~9
・ 平成 28 年度総会報告	
・ 平成 26・27 年度事業及び会計報告	
・ 新役員の紹介	
○卒業生の近況	10

ご挨拶



鈴友会 会長

鎌田 美千代
(昭和 56 年度卒業)

鈴友会会員の皆様、初めまして。昨年の9月より前増田会長の後を受け、会長の任に当たらせていただきます鎌田です。よろしくお願いいたします。今回の改選は私にとってまさに晴天の霹靂でした。前会長のもとで役員だった私は、周りの皆様に甘えてただ出席していただけでしたので、本当に戸惑いました。

不安を抱えながらの始まりでしたが、11月3日に鈴鹿大学短期大学部の創立50周年記念式典が盛大に行われ、卒業生の方も100名以上参加していました。鈴友会会員数もこの50年で8,000名以上となり、年月の長さ、重さを感じます。会員の年齢幅は20代～70代となり、この幅広い会員の皆様をつなぐ同窓会として、いったい何ができるだろう。と来賓のお話を伺いながら、無い頭で思い巡らせていました。

そして、短期大学部も今年の4月より学科・コースが変わり、生活コミュニケーション学専攻の養護教諭・音楽療法士コース（鈴鹿大学にこども教育学部養護教育学専攻が新設）とペットコースが平成29年度から募集が停止になります。2コースを卒業された会員の皆様は、寂しい思いを持たれる事と思います。創立記念式典に出席されていた卒業生の方々からも、そのようなことばをお聞きました。時代の変化や世の中の要望などにより変わることは仕方ないことですが、皆同じ卒業生として「短期大学部」を見守っていただければと思いますし、会員の皆様からもよいお知恵を拝借したいと思います。是非鈴友会まで皆様のお声をお届けください。

鈴友会を取り巻く環境や状況が変わりまして、役員の方々の力をお借りして微力ながら、鈴友会の灯をつないでいきたいと思っています。何卒ご協力のほどお願い致しますとともに、ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。



鈴友会 名誉会長

市野 聖治
(鈴鹿大学短期大学部 学長)

卒業生の皆様におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

鈴鹿大学短期大学部は、今年度（平成28年度）開学50周年を迎え、地域に貢献する大学としてさらなる進展を目指しています。過日開催されました開学記念行事などへの皆様のご協力に対し、あらためて感謝を申し上げます。

さて、来年度（平成29年度）からは、短期大学部の一部を発展的に改組し、鈴鹿大学こども教育学部（幼児教育学専攻、養護教育学専攻）が新設されることになりました。引き続き、本学へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

教学のさらなる充実はもちろんですが、地域に開かれた大学としての本学の最近の様子を一部紹介したいと思います。

三重県は「みえ次世代育成応援ネットワーク」が10周年を迎えるなど、他県に先がけて、子育て支援に力を入れています。本学は多様な子育て・子育てニーズに対応した地域連携型システム「子育てイノベーションセンター」を立ち上げ、「三重の子が三重で育ち三重で生活する」ことを支援するプロジェクトが平成28年三重県高等教育機関魅力向上支援事業に採択されました。子育てイノベーションセンターでは、設立記念イベントとして「次世代に伝える“子育ての魅力”シンポジウム」（2月4日）、「人形劇むすび座による“おおきなかぶ”と“泣き虫大男”」（3月4日）、「人と人が音楽でつながる”親子で楽しむコンサート”」（3月18日）を開催いたします。そして、高校生子育てサポーター「子育て支援探検隊」の養成、すずたん広場拡大版「家族で参加！体験イベント」、こどもの健康・ランニングバイク（ストライダー）の普及などが計画されています。

卒業生の皆様、これらのイベントなどでもぜひ母校へお立ち寄りください。また、本学の情報は、ホームページで随時提供されております。

末尾になりましたが、卒業生の皆様のご活躍をお祈り致しております。

特 集 母校 50 周年を祝う

創立 50 周年記念事業と新学部設立および短期大学部再編のご案内

鈴鹿大学短期大学部 副学長 川又 俊則

卒業生の皆様にはいつもたいへんお世話になっております。昭和 41 年に開学した本学は、卒業生の皆様や地域の方々に支えられ、ついに本年 50 周年という節目の年度を迎えることができました。昨年 11 月に行われた記念式典の様子をご報告するとともに創立 50 周年記念事業についてご案内申し上げます。また、平成 29 年度、大きな節目を迎える短期大学部についても併せてご案内申し上げます。

創立 50 周年記念事業「思いつながる 未来ひろがる」

● 記念式典・記念講演会・祝賀会

昨年 11 月 3 日、50 周年記念の祝賀行事が、本学にて開催されました。ご多忙の中ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。記念式典では知事様、市長様、記念講演会では名誉理事長・学長佐治晴夫先生、そして祝賀会でも多くの参加者の方々から、お祝いのお言葉を頂戴しました。「思いつながる 未来ひろがる」という統一テーマで 50 周年の行事を進めておりますが、祝賀行事当日は、皆様とすずたん（鈴短）が「つながっている」ことを改めて感じたひとときでした。

この 50 周年の年度を迎えるにあたり、私たちは具体的な準備をその前年度から始めました。大きな会場を予約し、イベント全体を外注するというアイディアもあったかもしれませんが、すずたんの伝統なのだと思いますが、在籍している教職員でできる精一杯のことをするのがいいのではないかという結論に至り、学内での開催を決めました。4 月以降、着任間もない先生にもスタッフに加わっていただきました。

● 教育振興募金

先般は 50 周年記念として、学生の奨学金などを目的とした寄付金をお願いをさせていただきました。現在まで多くの卒業生、関係の方々からご寄付いただきました。今後ご支援くださる皆様も含め、改めまして、心よりお礼申し上げます。頂戴した寄付金は大切に使用させていただきます。

● 記念誌の刊行

祝賀行事の様子を撮影した写真を収録したものを含め 50 周年記念誌を年度末に刊行いたします。同記念誌へ在籍時の思い出などをお寄せ頂きました皆様も重ねてお礼申し上げます。



記念式典



記念講演会



祝賀会

新学部設立および短期大学部再編

大学界は大いなる変革期を迎えており、本学でもその流れに即した改革をし続けております。ご承知の通り、平成 23 年には専攻科健康生活学専攻（養護教諭養成）を立ち上げ、平成 24 年にはキャンパス統合により科目の相互履修可能にし、大学・短期大学部 1 年生必修科目「鈴鹿学」も開設するなど、充実した教育機会を提供しました。また、学びを通して社会に貢献できる「知（地）の拠点」をめざし、平成 27 年には名称を鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部と変更しました。さらに同年、専攻科こども教育学専攻（幼稚園教諭養成）を立ち上げました。

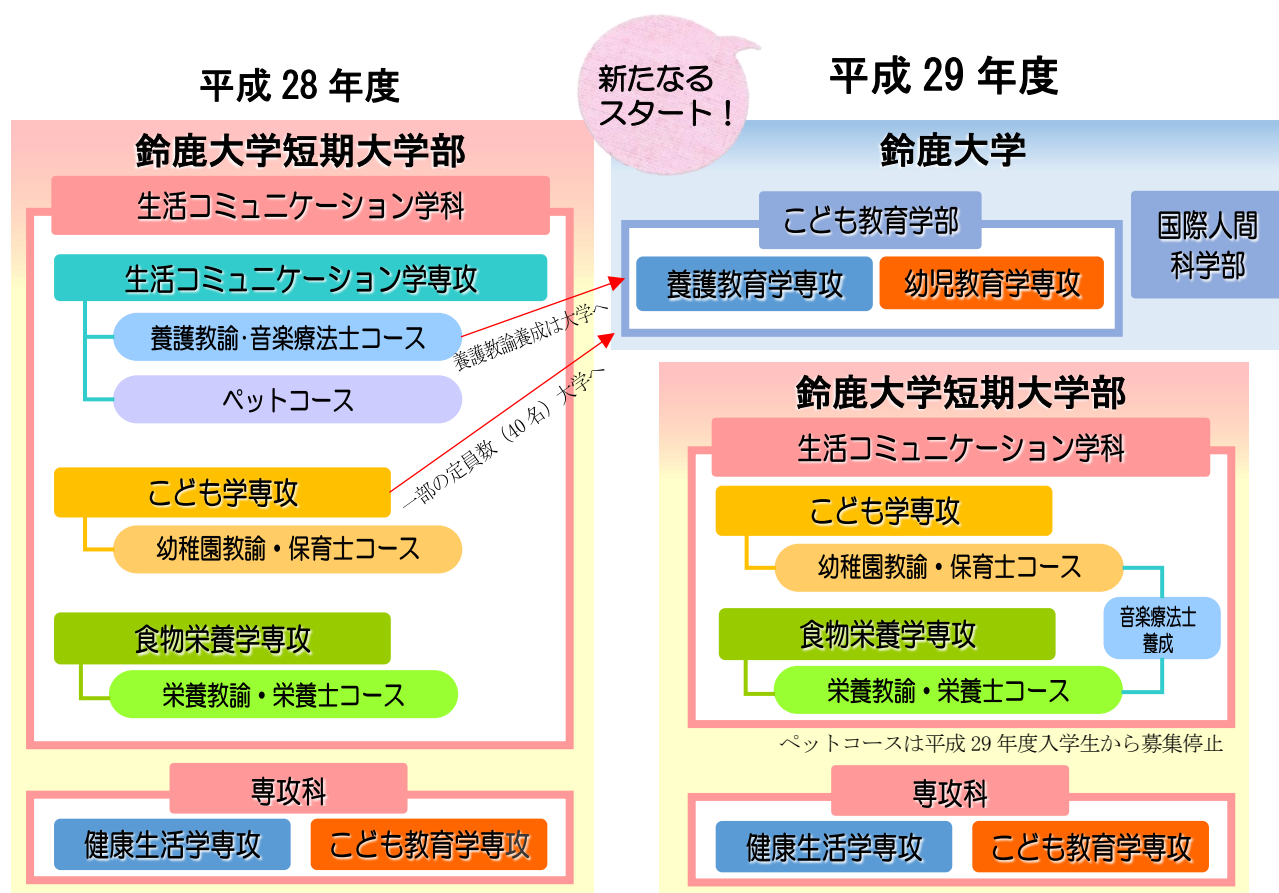
● 鈴鹿大学こども教育学部設置と短期大学部の新たなスタート

そして平成 29 年 4 月から、生活コミュニケーション学専攻とこども学専攻の一部が新たに「こども教育学部」（一学年の定員 80 名）として鈴鹿大学内に設置されます。短期大学部は、食物栄養学専攻とこども学専攻という 2 専攻（一学年の定員 90 名）として、生まれ変わった形でスタートします。もちろん、既に入学者の方々については、卒業までそれぞれの専攻の学生としての学びを私たち教職員が全力で支援していきますし、専攻科（健康生活学、こども教育学）も継続します。

新学部開設にともない、短期大学部生活コミュニケーション学専攻は閉じ、養護教諭養成は新学部のみとなります。幼稚園教諭・保育士養成は短期大学部と新学部それぞれで実施します。食物栄養学専攻は従来同様、栄養士・栄養教諭を育てていきます。音楽療法士も短期大学部の大きな特徴として養成を引き続き行っていきます。

● これからも短期大学部は未来に向かって歩み続けます

鈴鹿大学短期大学部はこのように平成 28 年度、大きな節目を迎えました。三重県で最も学生数の少ない短大として 50 年間、「山椒は小粒でも・・・」の慣用句のように、高等教育機関としての役割を果し、実践力のある皆様のような卒業生を多数輩出してまいりました。次年度からは下の図のように変わります。ただし、享栄学園の建学の精神「誠実で信頼される人に」にもとづいた教育の根本自体は変わりません。地域社会や地域の人びととつながり続ける大学という姿勢も変わりません。どうぞ、今後とも鈴短、そして鈴鹿大学・享栄学園へのご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



母校創立 50 周年をお祝いして

滋賀県支部長 伊藤裕美（昭和 52 年度 養護教諭卒）

創立 50 周年おめでとうございます。

社会も急激に変化してきましたが、開学 50 年、半世紀にわたり「誠実で信頼される人」の育成を建学の精神とし、母校が存続発展してきたことを嬉しく思います。

私は、開校 10 年後に縁をいただき本学で学び、養護教諭の免許を取得しました。2 年の学びの場は凝縮されていて、滋賀からの通学と、学業の修得に奮闘していました。中でも、病院実習・教育実習は、深い思い出があります。卒業後、養護教諭として勤務する中で、誠実に仕事すること。そして信頼される人になることは、生き方の根底にいつもありました。

時代のニーズにあわせ新設された学部、さまざまな行事や公開講座開催など、短大の近況を伺い、若い後輩たちが将来に向け生き生きと学び、大学で取得した資格や、体験をもとに各地で同窓生の和が広がり、母校が発展していくことを滋賀の地から願っています。



中田 美紀子（昭和 46 年度 第 3 部卒）

鈴鹿大学短期大学部創立 50 周年、心よりお祝い申し上げます。

ひと口に 50 周年と申しますものの様々な思い出が走馬灯のように巡ってまいります。日進月歩の学問の昨今、母校で学んだことは思い起すたびに充実した毎日であり、私の人生の中で本当に誇りに思える学生生活でした。この学び舎の記念式典に出席できましたことは大変嬉しく思います。

母校の歴史がこれからも益々ご発展されますことを心より願っております。



市川 美代子（昭和 53 年度 家政卒）

母校 50 周年おめでとうございます。

卒業してもう 37 年になりますが楽しかった 2 年間のことは本当に大切な思い出です。

2 年間お世話になった岩崎ひろこ先生のあたたかいまなざしに見守られ、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができ、本当に良かった。

茶道部での 2 年間、他のコースの方とも友人になれ、いろいろと話をするのが楽しかったです。学生会の会計をさせていただいた時は、大学祭の準備などで夜になってしまった日々。母校の中学での教育実習、岩崎先生の部屋へおじゃましていろいろ教えていただくのも楽しみでした。あつという間の 2 年間でした。昨年 5 月に同窓会をいたしました。18 年ぶり 3 回目となりますが、会えば短大時代へとすぐ返り、岩崎先生ともお会いできたのがうれしくて、思わずホロリとなりました。1 人だけどうしても連絡がつかず、来てもらえなかったのが心残りです。

これからもなごやかで家庭的な鈴鹿短大であってほしいと思います。



武内みゆき（昭和 61 年度 商経卒）

鈴鹿大学短期大学部創立 50 周年おめでとうございます。

偶然にも私は 50 歳。母校と同じ年ということになります。私の 50 年にも色々なことがありましたが、母校もこの 50 年の間に発展を遂げ、どれほどたくさんの鈴友会の仲間が増えたのでしょうか。

鈴友会から同窓会総会の通知が届くと、同級生の 6～7 人で声を掛け合い出席しています。今まで子育てや地域の行事などで、中々自分の時間を作り出すことは難しかったのですが、最近では毎回出席できていると思います。総会では最近の母校の様子をスライドやお話で伺うことができ、懐かしい先生方とお会いし、また同級生とは話も弾みます。職場の友達やママ友とは違い、同級生とは学生の頃の気持ちで話せるので不思議です。友達の元気な姿を見ると自分ももっと頑張れる気分になります。そんなきっかけを作ってくれる総会や同窓会行事には、これからも積極的に参加していきたいと思っています。

鈴友会の役員の方々には大変お世話になっております。この場を借りてお礼申し上げます。鈴鹿大学短期大学部と鈴友会の益々のご発展をお祈りしています。



祝賀会に集まった皆さんからの喜びの声

平成 28 年 11 月 3 日（木）。創立 50 周年記念式典、佐治晴夫名誉学長による記念講演会につづき、祝賀会が大学内の学生食堂にて盛大に催されました。



福永先生(左)と同級生
「仲間が集まりました。40
周年も集まりました、み
んな輝いています！(S53
年度卒)」



「学園祭など、たびたび家族と一
緒に短大に来ています。(S61 年
度卒)」「伊勢から来ました。元気
にしています。(S59 年度卒)」「移
転前の庄野キャンパス跡に立ち
寄ってから来ました。郡山キャン
パスは、立派になっていてびっくり
した。滋賀から来ました。三人共、
養護教諭として頑張っています。
(S62 年度卒)」



「みんな 50 歳ですので、短大と同じ年
です。鳥羽や津、滋賀や桑名からみな
集まりました。(S61 年度卒)」「みんな
元気でがんばっています！(S57 年度
卒)」「仕事と子育てを元気に頑張っ
ています。(H4 年度卒)」



「仕事と子育てを、元気に
頑張っています。(H3 年度
卒)」「商経学科最後の学
年です。今回短大に来ら
れてよかった。神尾ゼミで
した。(H6 年度卒)」



「初めて新しいキャンパスになって参加しました、
大学がどんな様子なのか楽しみにして来ました。
佐治先生が、82 歳でお元気にされていて、講演
での“今から”が大切との言葉に感動しました。
(H3 年度卒)」「三部一期生で入学当初様々な記
者の方に取材を受け学校の PR をしました。多く
の学生が全国から集まるようになりました。(S46
年度卒)」



佐治先生(左)
永石先生(右)
「短大にはこれから
も歩み続けてほしい
です。専攻科に関わ
れて嬉しいです。
(佐治先生)」



「元 OSK※トップスター
東雲あきら(旧姓小林
真弓、現在五十鈴塾
事務長として活躍中)
さんと、同級生です。
大阪での同窓会を予
定しています。
(S48 年度卒)」

※OSK

「大阪松竹歌劇団」(Osaka Shochiku Kagekidan)の略称、宝塚歌劇団・松竹歌劇団(SKD)と並ぶ三大少女歌劇のひとつ。1922 年松竹楽劇部として創設される。1943 年大阪松竹歌劇団(OSK)に改称。その後、何度か改称し、現在の名称は「OSK 日本歌劇団」。

祝賀会 スナップ写真



母校創立 50 周年に寄せて

同窓会活動をふりかえり

鈴友会 第3代会長 増田 文子（昭和44年度食物栄養卒）

このたび、総会において、新会長にバトンタッチを、いたしました。

会長という立場での、この10年にわたる同窓会活動。思い起こせば色々なことがありました。大学名が変わり、学長も変わられ、専攻の追加もありました。そして、学校所在地も、庄野キャンパスから、現在の郡山キャンパスへと。

今でも鮮明に記憶に残っているのが、会長になった経緯です。ある日突然、何の前触れもなく会長の訃報に接し、唖然としたと同時に、これから同窓会・鈴友会はどうなるのだろうか。偉大な力でこれまで牽引してくださっていたからこそ、なおのことでした。おりしも副会長であった私は、鈴友会会則を改めて見直しをしました。そこに書かれていた文面。せめて総会までは持ちこたえなくては。これが当時の偽らざる心境でした。先輩及び同窓会役員の方々の力添えを受けながら、会長の偲ぶ会を開催し、総会へと、滞らせることなく活動を推進し、亡き会長後、改めて決定されたのが、2年周期の総会開催。そして、そこでの決定事柄、及び母校の近況を、会員相互に知っていただこうとの思いで、鈴友会会報誌として、「Bell Friend」を発行。毎年の卒業生に対し同窓会の入会式に代替えするものとして、鈴友会会報誌「卒業記念号」の贈呈。おかげをもちまして、現在、会報誌発行も6号にいたり、卒業記念号も毎年発行しております。これらは、とりもなおさず皆様の協力で得られたものであり、深くお礼申し上げます。

今年に入り、とりわけ夏に入ってから、大学に立ち寄ると、見受けられるようになった「鈴鹿短大がかわる」というポスター。もうそろそろ新しい、柔軟な頭脳の人に、バトンタッチするべき時ではと思って矢先、目にした文字。考えも固まりました。そして迎えた総会。皆様の賛同も得て、第4代会長に引き継ぐことが了承されました。これでやっと、前会長から託されたものを、受け継いでくださる人ができたと、安堵しています。これからは、違った角度で同窓会活動に関与させていただく所存ですし、ただただこれまでの10年間、支え続けてくださった皆様に感謝の思いでいっぱいです。有難うございました。



鈴友会活動

平成 28 年度 総会報告

平成 28 年 9 月 3 日（土）に、鈴友会総会と茶話会が開催されました。総会では、川又俊則副学長から新学部（こども教育学部）設置認可のご報告や短大が創立 50 周年を迎えたことなど大学の現況についてのお話をいただきました。また、石川先生からは懐かしい映像とともに 50 周年記念行事のご案内がありました。茶話会では、恩師を囲み、久しぶりに会った同窓生と近況報告をしあうなど、にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。



川又副学長のご挨拶



増田会長のご挨拶



懐かしい映像に心む卒業生のみなさん



和やかな茶話会



恩師とともに



審議事項では、①会則の改正 ②母校 50 周年記念事業の教育振興募金に 10 万円の寄付 ③平成 26・27 年度事業報告 ④平成 26・27 年度会計報告 ⑤平成 26・27 年度監査報告 ⑥鈴友会役員改選 ⑦平成 28・29 年度事業計画、以上の各議案は拍手をもって承認されました。

次回の総会は平成 30 年に開催されます。昭和 51・52 年度、平成 21 年～25 年度、28 年度、29 年度卒業生を対象に呼びかけますので、お友だちとお誘い合わせのうえご参加ください。（福永峰子）

～ 総会に出席して ～



東 奈保子

（平成 18 年度 養護教諭・福祉卒）

9 月 3 日（土）、「卒業して 10 年か・・・」と、しみじみしながら、初めての総会に参加させていただきました。

社会人を経験した後、養護教諭となって 6 年。少し慣れてきた学校現場での毎日ですが、総会に参加したことで、在学中のよき出逢いや信念を思い出し、初心に立ち返ることができました。

また、母校の今や、先輩方が毎年積み重ねてこられた取り組みを知ることができ、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。

短大での学びを生かし、多方面で活躍されている卒業生の方々の存在は、私の励みとなります。これからも、鈴鹿短大の卒業生であることに誇りをもっていきたいと思います。

平成 26・27 年度 事業及び会計報告

● 事業報告（平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

平成 26 年度 役員会：4/30. 5/29. 6/26. 8/27. 9/24. 10/30. 1/22. 総会・ホームカミングデー：9/6 平成 27 年度 役員会：12/15	*総 会 ○平成 24・25 年度会計・会計監査・事業報告○会報発行 ○役員選出 ○平成 26・27 年度事業計画案 *幹事会及び役員会 ○卒業記念号発行 ○校名変更への対応
--	---

● 会計報告書（単位:円）

平成 26 年度報告書(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

収入の部	支出の部
前年度繰越金(普通預金) ^{*1} 1,818,856	印刷費 77,873
(定期預金) 2,918,660	消耗品費 36,929
終身会費(H26 年度 卒業生) 660,000	通信費 128,774
利息 (普通預金) 319	人件費 18,300
(定期預金) 582	その他 1,976
	卒業記念品 65,000
	小 計 328,852
	次年度繰越金 ^{*2} 5,069,565
合 計 5,398,417	合 計 5,398,417

※1 終身会費 (H25 年度 卒業生) ¥655,000-含む

※2 終身会費 (H26 年度 卒業生) ¥660,000-含む

平成 27 年度報告書(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

収入の部	支出の部
前年度繰越金(普通預金) ^{*1} 2,150,323	印刷費 13,824
(定期預金) 2,919,242	消耗品費 18,286
終身会費(H27 年度 卒業生) 580,000	通信費 0
利息 (普通預金) 362	人件費 0
(定期預金) 582	その他 0
	卒業記念品 58,000
	小 計 90,110
	次年度繰越金 ^{*2} 5,560,399
合 計 5,650,509	合 計 5,650,509

※1 終身会費 (H26 年度 卒業生) ¥660,000-含む

※2 終身会費 (H27 年度 卒業生) ¥580,000-含む

上記の通り、ご報告させていただきます。

会計 永岡 宏行 印

上蔦 克也 印

以上、監査するに事実相違ありません。

監査 伊藤 朋子 印

新役員の紹介

本部役員

名誉会長	市野 聖治	(鈴鹿大学短期大学部 学長)
会 長	鎌田 美千代	(昭和 56 年度・養護教諭)
副 会 長	永岡 宏行	(平成 16 年度・食物栄養)
書 記	元木 ひとみ	(平成 4 年度・商経学科)
	前澤 いすず	(平成 11 年度・食物栄養)
会 計	大畑 陽子	(平成 5 年度・商経学科)
	上蔦 克也	(平成 19 年度・こども学)
監 事	梅原 頼子	(昭和 59 年度・食物栄養)
顧 問	福永 峰子	(昭和 53 年度・食物栄養)
	増田 文子	(昭和 44 年度・食物栄養)
	有竹 千鶴	(昭和 61 年度・商経学科)



本部役員です。よろしくお願いいたします！

滋賀県支部役員

支 部 長	伊藤 裕美	(昭和 52 年度・養護教諭)
副支部長	植村 靖子	(昭和 47 年度・食物栄養)

卒業生の近況

クラス会にて（昭和 48 年度 栄養士コース）

◆平成 28 年 9 月 7 日（水）、同窓会を大阪で行いました。6 名でしたが、皆さん元気で今回も再会を喜びました。大阪水上バスアクアライナーに乗船、その後あべのハルカスで食事と地上 300m, 60 階天上回廊の展望を楽しみました。◆鈴鹿短大を卒業後、42 年経過していますが、今でも同窓会があってクラスの皆さんと会うことができます。私は、四日市市の山中胃腸科病院で約 1 年勤めた後、伊勢市の慶応病院に 5 年栄養士として働き、その後 36 年間医療生協で栄養士→ケアマネジャーで働いて、定年退職して 1 年経過しました。◆2 年に 1 回の同窓会に参加し、皆の元気な顔を見ました。近況は 4 月に 6 人目の孫に恵まれて元気に過ごしています。◆私は、毎日近くのスーパーの惣菜売り場（寿司担当）で、栄養士の免許状も役に立っており、楽しく働いています。家では認知症の主人の母と毎日格闘しています。子供たちは来年でやっと大学を卒業して働くようになり、少しほっとしています。◆2 年に 1 度の割合で皆と会うようになって短大時代の話をしたり、先生の近況もうかがえて懐かしく思っています。また、二年後にぜひ会いたいと思います。歳を重ねて体の心配もありますが食事に気を付けて頑張っています。◆今日は、皆様のお陰で同窓会に参加することができました。遠い短大の時を回想すると、とても懐かしく思い出されます。

平成 28 年度 総会にて

◆夫と娘（23 歳）と実父の 4 人で忙しい毎日です。（昭和 53 年度 家政コース）◆今更ですが、今日総会資料を見て気が付きました。短大ができた年と私の歳は同じです。50 年長いようで、あっという間です。すごいです。短大と共に成長？しています。これから。（昭和 61 年度 商経学科）◆自分が生まれた年に鈴鹿短大ができ、年月を感じています。今は自分の健康に気を付けながら頑張っています。（昭和 61 年度商経学科）◆公立高校で養護教諭として勤務しています。参加させていただいて在学中のことを思い出して一層仕事を頑張っていけそうです。（平成 18 年度養護教諭・福祉コース）◆週 5 の 1 日 4 時間で働き出しました。まだ実務経験をつめてませんが長く細く実務をつみつつ栄養の仕事に関わりたいです。50 周年、だいぶ在学中の雰囲気と変化してさみしいですがひさしぶりに先生方のお顔が見れてよかったです。（平成 20 年度 食物栄養）◆卒業して 8 年経ちます。今は、四日市市内の障がい者支援施設で管理栄養士をしています。総会の機会があるおかげで、当時の友人にも会え、情報交換などもできて、いい刺激になります。（平成 20 年度 食物栄養）◆月～金曜日の 8:30～17:00、手料理ディサービスセンター桃李笹川にて生活相談員として働いています。水曜日の 19:25～20:40、アクトスにてテニス、土曜日は習字のみと。平成 28 年 8 月 3 日よりさがわ接骨院にて腰痛治療中です。（平成 20 年度 生活学）◆社会にもまれながら頑張っています。（平成 27 年度 こども学）

編集後記

- ・この度は、Bell Friend No.6 の発行にあたりご執筆いただきました皆様方に心よりお礼申し上げます。
- ・No.5 まで表紙に使っていたロゴマークは、平成 27 年 4 月より鈴鹿短期大学は、鈴鹿大学短期大学部となり、校章の変更に伴い使用できなくなりました。
- ・鈴鹿大学短期大学部創立 50 周年の記念式典が本校で開催されました。あと 2 年で鈴友会も 50 周年。会員数も 8,049 名となり、会員の皆様全員に 50 周年を共有してもらうには、同窓会としてどうしたらよいのかこれから考えていきたいと思います。
- ・鈴鹿大学短期大学部のホームページでは、同窓会関連のイベントなどたくさんの情報を掲載しています。クラス会報告、近況報告等も、下記アドレスから見るができますので、ぜひご覧ください。

＊ 鈴友会のホームページ ＊ HP: <http://www.suzuka-jc.ac.jp/> (鈴鹿大学短期大学部 HP 内)

旧校章



新校章



鈴鹿大学こども教育学部（養護教諭・保健教諭養成、幼稚園教諭・保育士養成）のご案内

本紙4ページでもご紹介させていただきましたが、この4月からは、同じキャンパスにある鈴鹿大学に「こども教育学部」（養護教育学専攻、幼児教育学専攻）を新設いたします。

昨年8月末に設置認可を頂き、11月から推薦入試を行ってまいりました。合格し、入学手続きをされた方々に対しては、すでに入学前オリエンテーションの課題のやり取りをしております。

この2～3月には一般入試（英語・国語・面接）を3回実施します。そして、授業料全額・半額免除（最長4年間。進級時継続判定審査あり）となる特別奨学生も募集しています（希望者は小論文試験あり）。

養護教育学専攻は、養護教諭免許だけではなく、中学校・高等学校「保健」の免許を同時に取得でき、多様な実習を提供し、研究もでき、教育力・看護力のある即戦力の養護教諭を目指します。

幼児教育学専攻では、幼稚園教諭1種免許・保育士資格だけではなく、放課後児童指導員という民間資格も取得でき、短期大学部で開設している音楽療法の専門授業も履修可能です。幅広い技能・知識あるリーダーシップをもった保育者を目指します。

新学部1期生となるチャンスは今回の入試だけのものです。大学進学など進路で迷っている知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、一度、本学のことをご検討いただけますよう、ご案内させていただきます。

平成29年度 こども教育学部入試日程



試験区分			願書受付期間	試験日	合格発表日	入学手続期限
Ⅲ期	一般入試	前期	2/ 1 (水)～ 2/10 (金) 必着	2/18 (土)	2/24 (金)	3/ 9 (木)
	社会人入試 (シニア入試)					
	グループ校入試					
Ⅳ期	一般入試	中期	2/22 (水)～ 3/ 3 (金) 必着	3/11 (土)	3/17 (金)	3/23 (木)
	社会人入試 (シニア入試)					
	グループ校入試					
Ⅴ期	一般入試	後期	3/ 6 (月)～ 3/13 (月) 必着	3/18 (土)	3/24 (金)	3/30 (木)
	社会人入試 (シニア入試)					
	グループ校入試					

卒業生の皆様におかれましては、益々のご健勝をお祈りしております。また、チャンスがあれば、ぜひ母校同様に、新校舎が建つ新学部も見に来てください。

こども教育学部 学部長予定者
川又 俊則

入試などのお問い合わせ先
鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 入試広報キャリア課
〒510-0298 三重県鈴鹿市郡山町 663-222
TEL : 059-372-2121 FAX:059-372-2827 (大学代表)